

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-55℃ ～ +125℃ (95%RH MAX)	保存温度範囲	-55℃ ～ +125℃ (95%RH MAX)	
	電 力	50 / √f(GHz) W	特性インピーダンス	50Ω (0 ～ 12.4 GHz)	
	特 殊 性	—	適合ケーブル	—	
性能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表 示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	100 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コンタクト 7 mΩ以下 外部コンタクト 7 mΩ以下	○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 500Vで測定する。	5000 MΩ以上	○	○
	耐 電 圧	AC1000Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比	周波数 0.045 ～ 12.4 GHzにて測定する。	V SWR 1.05+0.01f [f:GHz] 以下	○	—
	挿 入 損 失	周波数 ～ GHzにて測定する。	dB以下	—	—
	単体挿抜力	φ0.91 ^{+0.005} ₀ の鋼製ピンで測定する。	差込力 N以下 引抜力 1.5 N以上	—	—
総合挿抜力	適合コネクタで測定する。		差込力 N以下 引抜力 N以上	○	○
機 械 的 性 能	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 中心コンタクト 16 mΩ以下 外部コンタクト 16 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 振 性	周波数 10 ～ 2000 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 196 m/s ² で 3 軸方向各 4 時間 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 衝 撃 性	加速度 1960 m/s ² , 持続時間 6 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—
	ケーブルクランプ 部の引っ張り強度	N以下の引張力をケーブル軸に加える。	① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ部の破損がないこと。	—	—
	環境的 耐湿性	温度 +25 ～ +65℃, 湿度 90 ～ 98 %中に 10 サイクル(240 時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: 100 MΩ以上(高湿時) ② 絶縁抵抗: 5000 MΩ以上(乾燥時) ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -65 → — → +125 → —℃ 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を 5 サイクル試験する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
△	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
0					
備考 RoHS適合品			承認	IJ.MITANI	06.01.16
			検 図	KY.SHIMIZU	06.01.13
			担 当	TO.KATAYAMA	06.01.12
			製 図	YK.SUGIYAMA	05.12.28
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC4-007150-40	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	HRM-554S (40)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL311-0123-9-40	△ 1/1